

品質管理・不正防止・持続可能性配慮のための 『サプライチェーン・ガバナンス』の実践手法

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2018年 8月 9日(木) 13:30~17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【ご参加頂きたい方】

法務部門、監査部門、品質管理部門、購買部門、CSR部門など
関連部門のご担当者

講師 真和総合法律事務所 パートナー弁護士 高橋 大祐 氏

講師紹介

弁護士(日本) / 法学修士(米・仏・独・伊)。企業・金融機関に対し、グローバルコンプライアンス・サプライチェーン管理・危機管理に関する案件に対応するほか、社内規程整備・社内研修などの内部統制システム整備の支援も担当。日弁連の弁護士業務改革委員会 CSR と内部統制プロジェクトチーム副議長として、日弁連人権 DD ガイダンスや海外贈賄防止ガイダンスの策定にも関わる。国際法曹協会 CSR 委員会オフィサー、早稲田大学日米研究所招聘研究員、JETRO アジア経済研究所ビジネスと人権研究会委員、上智大学法学部非常勤講師なども務める。【関連論文】「品質管理と不正防止のためのサプライチェーン・ガバナンス」(会社法務A2Z 2018年6月号)、「SDGs・ESG 時代に求められる戦略的な法務活動」(ビジネス法務2018年7月号)、「ESG 関連リスクの管理・開示のあり方」CGコード第2章への対応を視野に(旬刊商事法務 No.2146・2147)、「サプライチェーンにおける CSR 法務戦略」(NBL1001・1002・1003 号、共著) ほか多数。

【申込方法】 当会ホームページ (https://www.bri.or.jp) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

181754-0101 (※) 『サプライチェーン・ガバナンス』の実践手法			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛 E-mail からもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会 HP にてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2MFPR 麹町ビル 2F

プログラム

■開催にあたって■

【講師より】

2017年に発生した素材メーカーによる一連の品質検査データ書き換えの不正事案は、大きな不祥事・社会問題として取り上げられ、消費者・顧客の安全に対する信頼に大きな疑義を生じさせる事象となった。このような品質不正に関する不祥事は、一企業の問題にとどまらない。品質に問題・不安のある製品がサプライチェーンを通じて転々流通することにより、サプライチェーンの下流の製造業者・流通業者にも責任や損害を生じさせ、消費者においても被害・懸念が拡大し、サプライチェーン全体の競争力にも影響を及ぼしかねない。

このような状況をふまえ、企業には、現在、コンプライアンスと競争力維持の双方の観点から、サプライチェーンにおける自社の立ち位置を十分に理解した上で、品質不正の予防・対応するためのガバナンス体制を強化することが強く求められている。

加えて、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成やESG(環境・社会・ガバナンス)課題対応が求められている現在、企業は、品質管理に加え、持続可能性の配慮の観点からも、サプライチェーン管理が求められている。

そこで、本セミナーは、品質や持続可能性の問題がサプライチェーンで引き起こすリスクの内容と原因を具体的に分析するとともに、サプライチェーンを通じた品質管理や持続可能性配慮に係る国内外の法規制の整理も行う。その上で品質管理・不正防止・持続可能性配慮のためのサプライチェーン・ガバナンスの実践手法について解説する。

1 サプライチェーンを通じて拡散する品質不正リスク

- (1) 品質不正に関する法規制の概要—製造物責任法を中心に
- (2) バイヤー・サプライヤー双方に生じ得る責任・損害の内容
- (3) 不祥事への拡大の危険性—複数の企業不祥事事例に関する分析を含め解説

2 サプライチェーンにおける品質不正問題の発生・拡大の要因—品質不正事案の社内調査報告書に関する分析も含め解説

- (1) サプライチェーンを通じた品質管理ガバナンス体制の不備
- (2) サプライチェーン間のコミュニケーション不足に伴う現場へのプレッシャー
- (3) サプライチェーンのトレーサビリティ(追跡可能性)の不足

3 品質不正防止のためのサプライチェーン・ガバナンスのためのステップ

- (1) サプライヤーの品質管理体制に対するモニタリングの強化方法
- (2) サプライヤー・バイヤー間の建設的な対話の促進方法
- (3) サプライチェーンを通じたトレーサビリティ確保の方法

4 持続可能性配慮に向けたサプライチェーン・ガバナンス

- (1) サプライチェーンにおける持続可能性に関するリスクの内容—事例を含め解説
- (2) サプライチェーン管理に関する国内外の規制の概要
- (3) 持続可能性配慮のためのサプライチェーン管理のステップ
- (4) 品質管理と持続可能性配慮に関する手法の比較分析と統合的アプローチ

※講師とご同業の方のお申し込みはお断りする場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。